

科目名		沖縄方言Ⅱ				英文表記		Okinawan DialectⅡ		平成26年3月	
科目コード		2013									
教員名:										作成	
技術職員名:											
対象学科／専攻コース						学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科						2年	選	履修	1単位	講義	前期
科目目標		①沖縄方言指導者、②琉歌鑑賞、③芝居の台詞理解、④沖縄民謡理解、⑤方言で自己の意見発表									
総合評価		期末テスト(50%)の他に講義中に発せられる小質問(50%)による評価									
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)					達成度目標の評価方法				目標割合	
	① 流暢な方言を理解する					⇒ 授業中の質問と応答により評価				30%	
	② 琉歌の表記内容を理解する					⇒ 琉歌大成から選出した琉歌の読解を口頭試問で評価				30%	
	③ 琉球歌劇の鑑賞をして理解する					⇒ 泊阿嘉録音により聴取と歌唱をさせて評価				40%	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4							
		◎									
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合											
		目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック			
評価項目			70	30	0	0	100				
基礎的理解		①②③	50	30			80				
応用力(実践・専門・融合)		①②③	20				20				
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)		③					0				
主体的・継続的学修意欲							0				
授業概要、方針、履修上の注意		①授業概要 イ・方言単語を豊富にする。 ロ・方言で話す時の雰囲気や体得する。 ハ・方言を聞									
教科書・教材		毎回2ページ～4ページのプリントの講師自作テキストを作成して配布する。 (他にも参考図書を探す場合のキーワード:国立国語研究所編 沖縄語辞典)									

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	方言の形容詞の特徴(1)	2	標準語の形容詞の「しい」という語尾と方言の形容詞の「さん」という語尾など方言の形が著しく異なる		
2	方言の形容詞の特徴(2)	2	同上		
3	方言の形容詞の語尾変化(1)	2	基本概念、ソース接地増幅語尾が変化する段階で便宜的に「さん」の変化と「しい」の変化を混同する例を説明する。		
4	方言の形容詞の語尾変化(2)	2	同上		
5	一人称、二人称、三人称代名詞と助詞	2	簡単な会話を試み、それを反復可能にする文を作る。		
6	話し言葉文(対話)を作成(1)	2	簡単な会話を試み、それを反復可能にする文を作る。		
7	話し言葉文(側聞)を作成(2)	2	うわさ話をする会話を試み反復可能な文にする。		
8	話し言葉文(演説)を作成(1)	2	聴衆に向かって話をする場合を想定して原稿を作る。		
9	挨拶文(対面)を作成(1)	2	日常の挨拶を文にして反復可能にする。		
10	挨拶文(衆人向け)を作成(2)	2	会合などでの挨拶はどうすべきか原稿を作り反復。		
11	敬語の使い方(1)	2	対話の時の敬語はどうすべきか。		
12	敬語の使い方(2)	2	大勢に話しかけるときの敬語はどうすべきか。		
13	琉歌の読み方	2	「琉歌大成」所載の歌の中から撰んで読み方を学ぶ。		
14	琉歌の解釈と鑑賞	2	同上に続いて意味と鑑賞の方法を探る。		
15	琉歌女流歌人恩納ナビとユシヤチル	2	恩納ナビとユシヤチルについて学ぶ。		
期末	期末試験	[2]			
16		2			
17		2			
18		2			
19		2			
20		2			
21		2			
22		2			
23	後期中間試験(行事予定で週変更可)	2			
24		2			
25		2			
26		2			
27		2			
28		2			
29		2			
30		2			
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①				各2時間×30回	
②				各5時間×2回	
③					
備考欄					